

令和 5 年度 事業報告

(令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日)

公益財団法人 S G H 財団

本年度においても、国際的で活力ある社会の創造に向け、多面的かつ幅広く社会活動に寄与することを目的として、教育・文化、医療・福祉、経済・産業等の振興、発展を図るための研究及び事業への助成等を行うとの本財団の設立趣旨に則し、公益財団法人として、公益目的事業の充実を図るべく、東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国からの外国人留学生に対する奨学金助成事業、がんの基礎研究並びに応用治療研究に対する助成、褒賞事業、並びにがんに関するオンラインによる市民講座を実施した。また、物流人材育成を目的に、国土交通省の日 ASEAN 交通連携に協力し、ラオス人民民主共和国、ベトナム社会主義共和国、マレーシアに対して物流に関する講義の提供を行った。

I 事業の概要

公益目的事業

1 留学生奨学事業

(1) S G H 奨学生

日本の大学または大学院に在学する東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国の国籍を有する私費外国人留学生を対象とし、大学に募集要項、申請書及び推薦書を送付し、募集を行った。その結果、応募締切の令和 5 年 4 月 17 日までに 76 大学から 89 名の申請を受理し、選考委員会において総合的に審議の上、第 38 期 S G H 奨学生並びに第 3 期 S G H 特定奨学生を選出、理事会の決議を経て、次のとおり奨学支援を行った。

第 38 期 S G H 奨学生：20 名

（一人当たり月額 12 万円、給付期間 2 年間）

年間給付額：2,880 万円（令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月）

氏 名

国籍

大学／学部・研究科

（敬称略・順不同）

コクラチャイ アティップ

タイ

北海道大学 現代日本学プログラム課程

チャン クアン サン

ベトナム

秋田大学 理工学部

チュー ジョリン	マレーシア 山形大学 工学部
ゲラルディ サロモ パンケレゴ	インドネシア 尾道市立大学 芸術文化学部
グエン ティ ミー ハイ	ベトナム 叡啓大学 ソーシャルシステムデザイン学部
ドー ティ タイ	ベトナム 拓殖大学 商学部
レ ゴック フェン	ベトナム 武蔵野大学 グローバル学部
クア チー フィ	マレーシア 京都先端科学大学 経済経営学部
ビ ティ ヒュエン	ベトナム 龍谷大学 国際学部
グエン ティ トウ	ベトナム 大阪経済法科大学 国際学部
ヨウ シン イ	マレーシア 関西学院大学 国際学部
グエン バン コン	ベトナム 帝塚山大学 経済経営学部
ブレイ ブリアンナ	インドネシア 立命館アジア太平洋大学 国際経営学部
ポンラピー プットポン	タイ 東京農工大学大学院 生物システム応用科学府
ドー シー アン	ベトナム 長岡技術科学大学大学院 工学研究科
グエン ティ フォン ティ	ベトナム 鳥取大学大学院 持続性社会創生科学研究科
グエン トウ チャン	ベトナム 福井工業大学大学院 工学研究科
イグナシウス イアン サヴィオ グナワン	インドネシア 立命館大学大学院 情報理工学研究科
チ ミン カン	ミャンマー 上智大学大学院 総合人間科学研究科
シンディ シシリア	インドネシア 大阪女学院大学大学院 21世紀国際共生研究科

第3期SGH特定奨学生：6名
(一人当たり月額18万円、給付期間2年間)

年間給付額：1,296 万円（令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月）

氏 名	国籍 大学／研究科（敬称略・順不同）
チェン チェン ジェ	ベトナム 秋田大学大学院 理工学研究科
ライラ ディニ ハリサ	インドネシア 岐阜大学大学院 連合農学研究科
チャンタラプラシウム ナンタポン	タイ 大阪大学大学院 工学研究科
ウェイ ニン エインドラ マウ	ミャンマー 宮崎大学大学院 農学工学総合研究科
レー ミン ハオ	ベトナム 滋賀県立大学大学院 環境科学研究科
ニスリナ エカヤニ ナスルン	インドネシア 北海道医療大学大学院 歯学研究科

第 37 期 S G H 奨学生：20 名

（一人当たり月額 12 万円、給付期間 2 年間）

年間給付額：2,880 万円（令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月）

氏 名	国籍 大学／学部・研究科（敬称略・順不同）
グエン フーン クイン	ベトナム 滋賀大学 経済学部
チュ ニャク インタン ヌルル アラ アヴェシエンナ	インドネシア 長岡技術科学大学 工学部
ゴー カイン リン	ベトナム 新潟県立大学 国際地域学部
グエン フォン アイン	ベトナム 福岡女子大学 国際文理学部
ルオン ティー アイン	ベトナム 名桜大学 国際学群
グエン バン チャウ	ベトナム 秀明大学 総合経営学部
テイ ガイリン	マレーシア 青山学院大学 総合文化政策学部
チャン ノ ゴック フェン	ベトナム 拓殖大学 商学部

レイチェル コー イー ロウ	マレーシア 福井工業大学 環境情報学部
グエン ゴック トウック	ベトナム 龍谷大学 文学部
チャン チョン ホップ	ベトナム 羽衣国際大学 現代社会学部
ドアン チャン ティ アイン トウ	ベトナム 環太平洋大学 経済経営学部
アルディ アニンデヤワン ストリスノ	インドネシア 東京大学大学院 新領域創成科学研究科
チャン バン チュン	ベトナム 岐阜大学大学院 自然科学技術研究科
レ ティ タオ	ベトナム 鹿児島大学大学院 農林水産学研究科
ジハード ラフマワン	インドネシア 岩手県立大学大学院 ソフトウェア情報学研究科
グエン ハイ ザン	ベトナム 福井工業大学大学院 工学研究科
グエン ティ ベト フォン	ベトナム 名古屋市立大学大学院 経済学研究科
チョウ ジー イン	シンガポール 早稲田大学大学院 国際コミュニケーション研究科
チュオン ティ ハウ	ベトナム 嘉悦大学大学院 ビジネス創造研究科

第2期SGH特定奨学生：4名

（一人当たり月額18万円、給付期間2年間）

年間給付額：864万円（令和5年4月～令和6年3月）

氏 名	国籍 大学／研究科 （敬称略・順不同）
ブウイ バン ズイ	ベトナム 帯広畜産大学大学院 畜産学研究科
グエン リ キム チー	ベトナム 滋賀医科大学大学院 医学系研究科
アウン フィヨ ワイ	ミャンマー 島根大学大学院 医学系研究科
オム ソマラ	カンボジア 東京農業大学大学院 地球環境科学研究科

(2) 奨学生採用証書授与式

第 38 期 S G H 奨学生ならびに第 3 期 S G H 特定奨学生を対象とした授与式を次のとおり開催した。

日 時 令和 5 年 10 月 23 日 (月) 12:00～13:00

場 所 ホテルグランヴィア京都

内 容 第 38 期 S G H 奨学生・第 3 期 S G H 特定奨学生採用証書授与式

(3) 刊行物発刊

① 奨学生報告集「2023 年度版 アジアの和」

第 38 期 S G H 奨学生並びに第 3 期 S G H 特定奨学生の留学目的、学習または研究の方針及び感想文等と第 37 期 S G H 奨学生並びに第 2 期 S G H 特定奨学生の私の夢について掲載、令和 5 年 10 月に 250 部発刊し、奨学生、卒業奨学生及び財団関係者に配付した。

② 第 37 期 S G H 奨学生・第 2 期 S G H 特定奨学生 研究成果・感想文集

令和 6 年 3 月に卒業・修了した第 37 期 S G H 奨学生並びに第 2 期 S G H 特定奨学生の研究成果・感想文集を令和 6 年 2 月に 240 部発刊し、奨学生、卒業奨学生及び財団関係者に配付した。

2 助成事業・褒賞事業

(1) 第 35 回 S G H がん研究助成

日本の大学、研究機関、医療機関等において、がんに関する基礎研究または臨床研究に携わる満 45 歳未満の日本人研究者及び医療従事者、並びに日本に定住する外国人研究者及び医療従事者の優れた研究を助成対象とし、大学、研究機関、医療機関等に応募要項、申請書及び推薦書を送付し、募集を行った。その結果、応募締切の令和 5 年 6 月 30 日までに 76 機関から 186 件の申請を受理し、選考委員会において総合的に審議の上、助成対象者を選出、理事会の承認を経て、次のとおり助成を行った。研究期間終了後、研究報告書及び会計報告書を入手する。

助成数：25 件 金額：2,500 万円（1 件当たり 100 万円）

氏 名	所属・役職／研究テーマ	(敬称略・五十音順)
伊藤 雄介	慶應義塾大学医学部先端医科学研究所がん免疫研究部門 専任講師 ナノテクノロジーを応用した新規 NK cell engager の開発	
井原 聡三郎	東京大学医学部附属病院消化器内科 助教 炎症性腸疾患の炎症・線維化・発癌の過程におけるゴルジ体ストレス反応の役割	

宇都 倫史	宮崎大学医学部医学科感染症学講座免疫学分野 准教授 ヒト樹状細胞に発現する免疫チェックポイント分子を標的としたがん免疫治療法の開発
及川 司	北海道大学大学院医学研究院分子生物学教室 講師 核膜を介したヒストンメチル化ダイナミクスと癌的遺伝子発現調節
岡田 守弘	理化学研究所生命機能科学研究センター動的恒常性研究チーム 研究員 液性因子を切り口にした、がん起因する代謝変容機構の解明
押 正徳	横浜市立大学附属病院消化器腫瘍外科学 助教 癌免疫の活性化をきたす miR150 の創薬としての有効性の検討
河野 まひる	大阪大学大学院医学系研究科産科学婦人科学 助教 卵巣癌腹膜播種における新規治療標的としての好中球細胞外トラップの検討
木下 真直	山梨大学大学院総合研究部医学域皮膚科学講座 助教 皮膚表皮内における自然免疫系が担う腫瘍免疫の包括的解明
齊藤 康弘	慶應義塾大学政策・メディア研究科／先端生命科学研究所 特任准教授 ER 陽性乳がん細胞増殖におけるグルタミンの機能解析
千場 隆	公益財団法人がん研究会がん研究所発がん研究部 研究員 空間的トランスクリプトームを用いた免疫抑制的腫瘍微小環境を醸成する細胞間相互作用の解析
寺井 秀樹	慶應義塾大学医学部腫瘍センター 専任講師 肺癌オルガノイドを活用した腫瘍免疫療法効果予測バイオマーカーの探索
中奥 敬史	国立がん研究センター研究所ゲノム生物学研究分野 ユニット長 がんゲノム情報から導出される新規治療標的となる変異集積の同定と標的治療の創出
中島 良太	京都大学医学部附属病院放射線部 助教 放射線治療による好中球細胞外トラップ (NETs) を介した遠隔転移メカニズム解明および遠隔転移予防法開発
西村 友美	京都大学大学院医学研究科乳腺外科 客員研究員 正常乳腺における der(1;16)陽性クローン拡大に起因する発癌メカニズムの解明
二村 圭祐	群馬大学未来先端研究機構 教授 多因子同時解析法による腫瘍不均一性獲得機構の解明
花村 徹	東海大学医学部外科学系乳腺・腫瘍科学 准教授 Androgen receptor 依存性分泌蛋白; Alpha-2-glycoprotein 1, zinc-binding (ZAG) の免疫細胞に対する作用メカニズムの解明

船造 智子	京都大学医学部附属病院呼吸器内科 非常勤医師・特別研究員 患者由来肺癌細胞株を用いた腫瘍内不均一性の性質に關与する因子探索研究
丸山 健太	愛知医科大学医学部薬理学講座 教授 腸管内核酸環境制御による大腸癌制圧の試み
森下 英晃	九州大学大学院医学研究院生体機能学分野 教授 選択的オートファジーによる腫瘍抑制機構の解明
山田 大祐	岡山大学学術研究院医歯薬学域（医学系）・組織機能修復学 助教（研究准教授） ヒト肢芽間葉系細胞由来肉腫モデルを用いた肉腫の発症機構の解明
山本 恵介	東京大学医学部附属病院消化器内科 特任講師 相分離に基づく転写制御機構を標的とした膵癌分子サブタイプ特異的治療法の開発
吉田 健一	国立がん研究センター研究所がん進展研究分野 分野長 長鎖シーケンス技術を用いた難治性急性骨髄性白血病の病態解明
吉原 雅人	名古屋大学医学部附属病院産婦人科 病院助教 難治性癌腹膜播種を克服する中皮細胞標的治療の開発
和久 剛	同志社大学生命医科学部医生命システム学科遺伝情報研究室 准教授 免疫逃避戦略を支える新規がん代謝リプログラミング機構の解明
渡邊 美佳	北海道大学病院皮膚科 助教 皮膚広域発癌の制圧を目指した幹細胞における創傷記憶成立起源の同定

(2) 第5回SGHがん看護研究助成

日本の大学、研究機関、医療機関等において、がん看護に携わる日本人研究者及び医療従事者、並びに日本に定住する外国人研究者及び医療従事者の優れた研究を助成対象とし、大学、研究機関、医療機関等に応募要項、申請書及び推薦書を送付し、募集を行った。その結果、応募締切の令和5年6月30日までに20機関から23件の申請を受理し、選考委員会において総合的に審議の上、助成対象者を選出、理事会の承認を経て、次のとおり助成を行った。研究期間終了後、研究報告書及び会計報告書を入手する。

助成数：12件 金額：600万円（1件当たり50万円）

氏 名	所属・役職／研究テーマ	(敬称略・五十音順)
江藤 美和子	大阪大学医学系研究科保健学専攻看護実践開発科学講座急性期・緩和ケア学研究室 博士後期課程 消化器がん術後患者のコーピングの柔軟性を高める看護支援の検討	
喜多下 真里	滋賀県立大学人間看護学研究院 講師 薬物療法を受けている進行がん患者の希望と精神的健康、Quality of Life 及びそれらに影響する要因に関する研究	
坂口 まみ	熊本大学病院がんセンター 副看護師長 がん治療を受けている患者に対するオンデマンド型アピアランスケア教室開催の体制整備とその効果の検証	
佐藤 真理	京都大学医学部附属病院看護部 副看護師長 頭頸部癌患者に対する治療前栄養管理の有効性の検討	
清水 理恵	東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科成人看護学分野 博士前期課程 がん遺伝子パネル検査における患者及び家族への支援状況と医療従事者が感じる課題についてのインタビュー調査	
中村 康江	医療法人社団こうかん会日本鋼管病院化学療法室 緩和ケア認定看護師 中小規模病院での終末期がん患者のアドバンス・ケア・プランニングにおける看護師の困難感尺度の開発と信頼性・妥当性の検証	
野村 智美	市立青梅総合医療センター 精神看護専門看護師・副師長 地域と連携した精神科がんサバイバーボード開催のシステム整備と実践	
幅野 愛理	公益財団法人がん研究会有明病院臨床遺伝医療部 認定遺伝カウンセラー 「遺伝性腫瘍 当事者からのメッセージ」ツール作成と医療者に対する有用性の評価	
林 由紀	神戸市看護大学看護学部ウィメンズヘルス看護学分野／大学院看護学研究科 助教 乳幼児のいる初期治療中のAYA世代乳がんサバイバー母親が必要とする育児・家事支援	
古屋 洋子	帝京大学医療技術学部看護学科 准教授 子育て世代のがんサバイバーとその子どもへのオンライン・サポートのための情報プラットフォームの構築	
森西 可菜子	京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻先端看護科学コース 助教 術前血糖コントロール目的で入院中のがん患者における 2 型糖尿病をもちながらがんの手術に臨む経験	
山路 野百合	東京大学大学院医学系研究科グローバルナーシングリサーチセンター 特任助教 がんの子どもとその家族に対する、がん診断に関連したコミュニケーションの実態と医療従事者のニーズ調査	

(3) 第 21 回 S G H 特別賞

がんの研究に顕著な功績を挙げ、かつ今後の発展が期待される研究者及び医療従事者の推薦を、医学部を有する大学、学会、がん診療連携拠点病院等の団体、学識経験者、当財団理事、評議員及び顧問に依頼した

結果、推薦締切の令和5年6月30日までに19件の推薦があり、選考委員会による慎重かつ公正な選考結果をもとに理事会の承認を経て、次のとおり褒賞を行った。翌年度、受賞テーマの研究報告書を入手する。

贈呈数：2件 総額：1,000万円（1件当たり500万円）

栗和田榮一賞：彫刻家 笹戸千津子氏作のブロンズ像「希望」

氏名	所属・役職／受賞テーマ	(五十音順)
藤堂 具紀 氏	東京大学医科学研究所先端医療研究センター先端がん治療分野教授 遺伝子組換えヘルペスウイルスを用いたがんのウイルス療法の開発と実用化	
西川 博嘉 氏	国立がん研究センター研究所腫瘍免疫研究分野 分野長 がん組織の免疫ゲノム融合解析の樹立と新規がん免疫ゲノム医療への展開	

(4) 第21回SGH看護特別賞

がんの看護、予防、医療に関する研究に顕著な業績を挙げ、将来も活動が継続され、その成果が期待される個人、または団体の推薦を、CNSコースを有する大学、学会、看護協会等の団体、学識経験者、当財団理事、評議員及び顧問に依頼した結果、推薦締切の令和5年6月30日までに11件の推薦があり、選考委員会による慎重かつ公正な選考結果をもとに理事長の承認を得て、次のとおり褒賞を行った。翌年度、受賞テーマの研究報告書を入手する。

贈呈数：2件 総額：200万円（1件当たり100万円）

栗和田榮一賞：彫刻家 笹戸千津子氏作のブロンズ像「悠」

氏名	所属・役職／受賞テーマ	(五十音順)
飯野 京子 氏	国立国際医療研究センター国立看護大学校 看護学部長・成人看護学教授 手術や薬物療法に伴いがん患者が体験する苦痛や生活の変化に対して、個別的で長期的なケア方法の検討と実装に向けた取り組み	
梅田 恵 氏	ファミリー・ホスピス株式会社 執行役員・副社長・品質管理責任者 ・地域に暮らすがん体験者のアドボケイト ・高齢がん患者のニーズ ・がん看護・緩和ケアにおける看護実践のイノベーション	

(5) 授与式・授賞式の開催

第35回SGHがん研究助成金受領者、第5回SGHがん看護研究助成金受領者を対象とした授与式、第21回SGH特別賞授賞式、第21回SGH看護特別賞授賞式を次のとおり開催した。

なお、採録記事を読売新聞全国版朝刊（令和 6 年 1 月 19 日）に掲載した。

日 時	令和 5 年 12 月 2 日（土）11:00～12:30
場 所	ホテルグランヴィア京都
内 容	第 35 回 S G H がん研究助成金授与式 第 5 回 S G H がん看護研究助成金授与式 第 21 回 S G H 特別賞・S G H 看護特別賞授賞式

（6）研究成果報告集の刊行

第 34 回 S G H がん研究助成金受領者、第 4 回 S G H がん看護研究助成金受領者及び第 20 回 S G H 特別賞受賞者、第 20 回 S G H 看護特別賞受賞者より提出されたがんに関する研究成果報告と令和 5 年度のがん研究振興事業報告を掲載し、「2023 S G H がん研究報告 Vol.34」を令和 6 年 3 月に 1600 部発刊し、全国の大学、研究機関、病院等に配付した。

3 がんに関する市民講座の開催

第 22 回市民公開講座をオンライン配信により次のとおり開催した。

なお、採録記事を読売新聞全国版朝刊（令和 6 年 3 月 27 日）に掲載した。

第 22 回市民公開講座

「がんと言われた時から～毎日を健やかに過ごすには？～」

日 時 令和 6 年 3 月 3 日（日）13:00～15:45

講演（各 25 分）

「がんと診断されてからの日常生活は？」

岩崎 基 氏

（国立がん研究センターがん対策研究所疫学研究部部長）

「がん治療中・治療後も仕事を続けるために」

高橋 都 氏

（NPO 法人日本がんサバイバーシップネットワーク代表理事）

「がん治療後のより良い生活、快適な毎日を」

江川 美保 氏

（京都大学医学部附属病院産科婦人科助教）

「がんと生きるための、こころの持ち方は？」

保坂 隆 氏

（保坂サイコオンコロジー・クリニック院長）

パネルディスカッション（55 分）

モデレーター：小西 郁生 氏、平岡 眞寛 氏

パネリスト：岩崎 基 氏、高橋 都 氏、江川 美保 氏、
保坂 隆 氏

コーディネーター 小西 郁生 氏

（京都大学名誉教授／国立病院機構京都医療センター名誉院長）

平岡 眞寛 氏

（京都大学名誉教授／宇治徳洲会病院顧問）

司 会 植月 百枝 氏（フリーアナウンサー）

参加者数 2406 名

後 援 公益財団法人日本対がん協会

協 力 SG ホールディングスグループ

その他事業

1 中古トラックの無償寄贈事業

本事業については、本年度は休止した。

2 人材育成支援事業

(1) 日中友好物流人材育成支援研修

本事業については、本年度は休止した。

(2) ラオス物流人材育成支援

ラオス人民民主共和国のラオス国立大学で物流を専攻する学生 49 名並びに公共事業運輸省職員及び物流業に従事する社会人 50 名に下記のとおり講義の提供を行った。平成 26 年度より、国土交通省の日 ASEAN 交通連携に協力し、ASEAN 地域を対象に物流に関する講義の提供を行っている。

日 時 令和 5 年 5 月 15 日（月）～5 月 19 日（金）、5 月 22 日（月）

内 容 第 6 期ラオス物流集中講義
物流概論、物流オペレーション

(3) ベトナム物流人材育成支援

ベトナム社会主義共和国のホーチミン交通大学で物流を専攻する学生 210 名に下記のとおり講義の提供を行った。平成 26 年度より、国土交通省の日 ASEAN 交通連携に協力し、ASEAN 地域を対象に物流に関する講義の提供を行っている。

日 時 令和 5 年 7 月 3 日（月）～7 月 14 日（金）

内 容 第 8 期ベトナム物流集中講義
物流概論、物流オペレーション

(4) マレーシア物流人材育成支援

マレーシアのニライ技能短期大学、コタキナバル技能大学、スルタン・ハジ・アーマド・シャー技能大学、セベラン・ペライ技能短期大学で物流を専攻する学生 200 名に下記のとおり講義の提供を試験的に行った。平成 26 年度より、国土交通省の日 ASEAN 交通連携に協力し、ASEAN 地域を対象に物流に関する講義の提供を行っている。

日 時 令和 5 年 10 月 16 日（月）～10 月 20 日（金）

内 容 試験的实施
物流概論、物流オペレーション

II 処務の概要

1 役員等に関する事項

(1) 役員に関する事項

理事 定数：5 名以上 7 名以内 現在：6 名 任期：2 年

監事 定数：3 名以内 現在：1 名 任期：4 年

	氏名	所属・役職等 (五十音順)
理事長	栗和田 榮一	SG ホールディングス株式会社代表取締役会長 佐川急便株式会社会長
理事	大久保 潔	SG ホールディングス株式会社総務部理事
理事	小西 郁生	京都大学名誉教授／独立行政法人国立病院機構京都医療センター名誉院長
理事	平岡 眞寛	京都大学名誉教授／宇治徳洲会病院顧問
理事	古城 紀雄	大阪大学名誉教授
理事	堀江 未来	立命館大学グローバル教養学部教授
監事	北村 善和	はばたき税理士法人代表社員

(2) 評議員に関する事項

評議員 定数：5 名以上 7 名以内 現在：5 名 任期：4 年

	氏名	所属・役職等 (五十音順)
評議員	上田 龍三	名古屋大学大学院医学系研究科特任教授／名古屋市立大学名誉教授
評議員	武 藤 誠	公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院理事・医学研究所長／京都大学大学院医学研究科連携大学院教授
評議員	西堀 正司	公益社団法人日本中国友好協会専務理事
評議員	馬場 完造	馬場完造税理士事務所
評議員	松本 秀一	SG ホールディングス株式会社代表取締役社長

(3) 顧問に関する事項

顧問 定数：なし 現在：9 名 任期：2 年

	氏名	所属・役職等 (五十音順)
顧問	垣添 忠生	公益財団法人日本対がん協会会長

顧問	菊地 宏子	元一般財団法人佐川国際経済協力会事務長
顧問	葛野 正彦	いすゞ自動車販売株式会社理事
顧問	河野 伊一郎	独立行政法人国立高等専門学校機構顧問／倉敷芸術科学大学学長顧問／岡山大学名誉教授（元学長）
顧問	佐谷 秀行	藤田医科大学がん医療研究センターセンター長
顧問	橋本 逸男	公益社団法人日本中国友好協会副会長／日本ラオス協会会長
顧問	畠 清彦	医療法人財団順和会赤坂山王メディカルセンター／国際医療福祉大学医学部血液内科学教授
顧問	三嶋 理晃	京都大学名誉教授／大阪府済生会野江医療福祉センター総長
顧問	山岸 久一	京都府立医科大学名誉教授（元学長）

2 会議に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和5年5月24日 (みなし決議)	第38期SGH奨学生及び第3期SGH特定奨学生採用決定の件	承認
令和5年6月12日	令和4年度事業報告及び附属明細書の承認の件	承認
	令和4年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件	承認
	顧問9名選任の件	承認
	SGホールディングス株式会社定時株主総会における議決権行使の件	承認
	定時評議員会開催の件	承認
	職務執行状況について	報告
令和5年6月27日 (みなし決議)	理事長選定の件	承認
	理事長に事故があるときの職務代行順位選定の件	承認
令和5年9月21日	第21回SGH特別賞受賞者決定の件	承認
	第21回SGH看護特別賞受賞者決定の件	承認

(みなし決議)	第 35 回 S G Hがん研究助成採択決定の件	承認
	第 5 回 S G Hがん看護研究助成採択決定の件	承認
令和 6 年 3 月 26 日	基本財産繰り入れの件	承認
	令和 6 年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類承認の件	承認
	職務執行状況について	報告

(2) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和 5 年 6 月 27 日	令和 4 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件	承認
	評議員 5 名選任の件	承認
	理事 6 名選任の件	承認
	監事 2 名選任の件	承認
	議事録署名人選任の件	承認
	令和 4 年度事業報告の件	報告

(3) 各種委員会

① S G H奨学生選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和 5 年 5 月 8 日	第 38 期 S G H奨学生の選考に関する件、第 3 期 S G H特定奨学生の選考に関する件	対象者を選出

② S G Hがん研究助成選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和 5 年 9 月 4 日	第 35 回 S G Hがん研究助成選考に関する件	対象者を選出

③ S G Hがん看護研究助成選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和 5 年 8 月 29 日	第 5 回 S G Hがん看護研究助成選考に関する件	対象者を選出

④ S G H特別賞選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和5年8月3日	第21回S G H特別賞選考に関する件	対象者を選出

⑤ S G H看護特別賞選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和5年8月9日	第21回S G H看護特別賞選考に関する件	対象者を選出

3 業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況

(1) 理事の職務執行に係る情報の保存及び管理に関する事項

理事の職務執行は、法令及び定款等に基づいて行われ、その職務執行に係る情報は、理事会議事録に記載され、その記録の保存・管理は、適切に保存及び管理している。

(2) 理事及び職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

法令、定款及び社会規範等の厳守を目的としている。

4 内閣府への提出等に関する事項

提出年月日	内容
令和5年6月29日	事業報告等の提出
令和5年7月31日	変更の届出
令和6年3月22日	変更の届出
令和6年3月27日	事業計画書等の提出

5 寄附収入に関する事項

なし

附属明細書

令和 5 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律
施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足
する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和 6 年 5 月

公益財団法人 S G H 財団